

災害発生時の安否確認・連絡方法

災害時には大量の電話が殺到し、被災地域内における電話がつながりにくい状況（ふくそう）になります。緊急の場合以外は電話をひかえ、通話はできるだけ手短にしましょう。

なお、通常の電話がつながらない場合、家族などと安否の連絡を取り合う方法として、次のような比較的つながりやすい伝言サービスがあります。前もって利用方法を知っておくと便利です。

●災害用伝言ダイヤル（NTT東日本）

加入電話、公衆電話、災害時にNTTが避難所などに設置する災害時用公衆電話等で利用可能です（詳細はHP等で確認してください）。

【サービスの概要・利用方法等】

被災地からの安否情報を肉声で登録できるボイスメールシステム。サービスの提供は、地震等の災害発生時にふくそう状態となった場合にNTTがサービスを提供する。

- ・録音方法：「117」⇒「1」⇒被災地の人の電話番号⇒伝言録音（30秒以内）
- ・再生方法：「117」⇒「2」⇒被災地の人の電話番号⇒伝言を聞く

●災害用伝言版（携帯電話会社）各社のHP等でサービス内容を確認してください。

災害発生時の本学への安否確認・連絡方法

ア メールによる連絡先 anpi@yone.ac.jp

イ 大学の電話番号 0238-22-7330

その他緊急時の連絡先（交通事故、盗難、火災など）

米 沢 警 察 署 0238-26-0110

米沢警察署駅前交番 0238-22-3010

消 防 署 119

大 学 連 絡 先 0238-22-7330

～～「栄養大」「米短」が停電したときの注意～～

消火栓……………使用できません。

LAN……………使用できません。

非常放送……………使用できません。

エレベーター……………近くの階で止まります。その後使用できません。

固定電話……………使用できますが災害直後は30倍ふくそうします。

防火戸……………熱・煙感知器が作動した時に自動的に閉まります。

地震発生時の初動マニュアル（共通）

地震発生

- ① まず、身を守る！ ⇒ 机の下などへ 頭を守る
- ② すばやく火の始末！ ⇒ ガスの元栓、実験器具
- ③ 非常脱出口の確保！ ⇒ ドアを開ける



地震発生後 1～2分

- ① 火元を確認！ ⇒ 火が出たら落ち着いて初期消火
- ② 同室員の安全を確認！ ⇒ 下敷きになっていないか
- ③ 実験装置等の運転停止！



地震発生後 3分

- ① 隣接する部屋で助け合う！ 声を掛け合う
- ② 余震に注意！

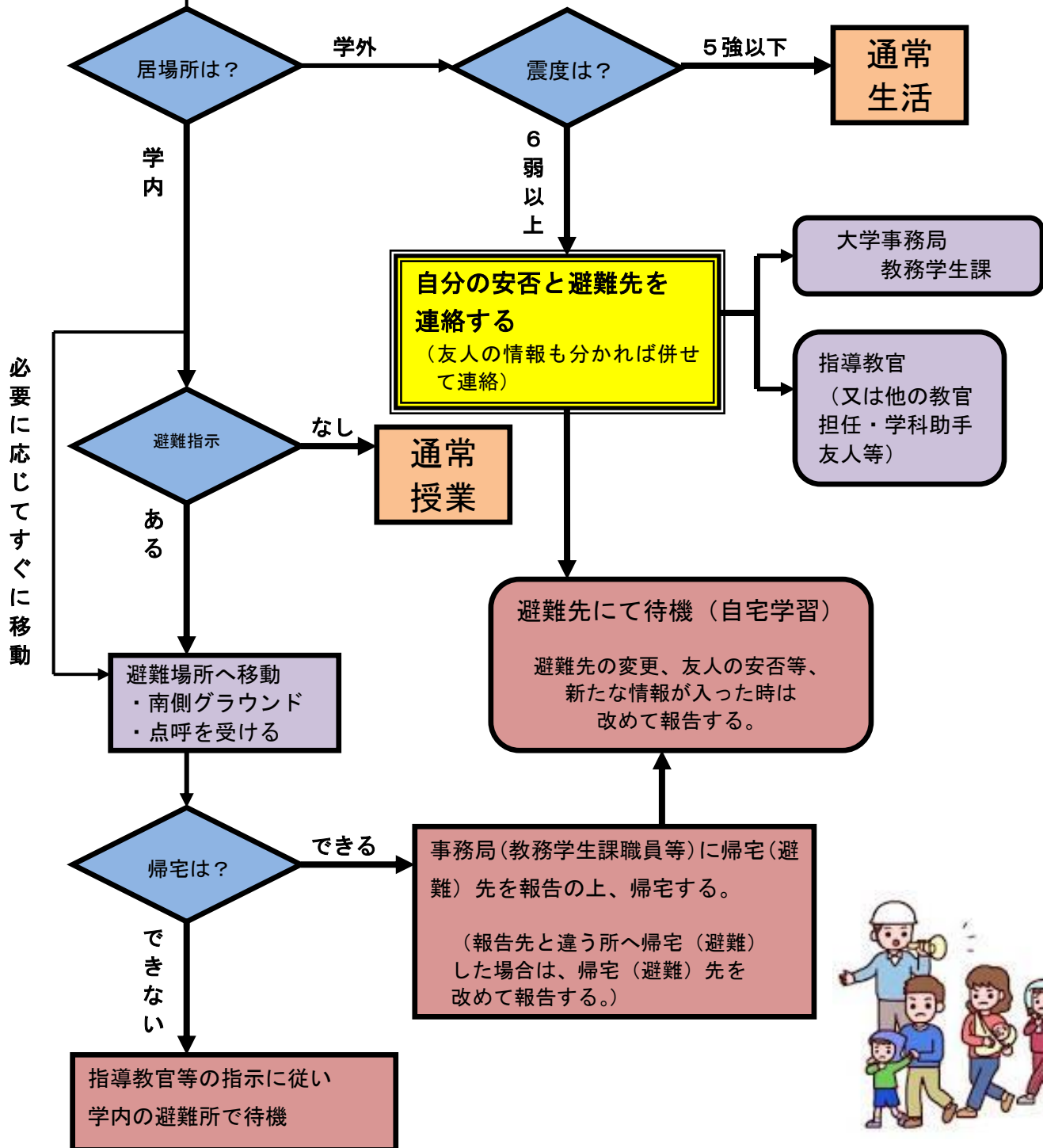


以下、（学生）のマニュアルへ

地震発生時の初動マニュアル（学生）



初動マニュアル（共通）で行動



※表記された震度は米沢市管内の震度